

令和 8 年第 2 回琴浦大山警察署協議会開催状況

開催日時	令和 8 年 6 月 24 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 3 時 00 分まで	
開催場所	琴浦大山警察署	
出席者	委 員 (定数 6 人)	永岡会長、榎原副会長、入江委員、清水委員、林委員 以上 5 人
	警 察	中嶋署長、柴田管理官、西村会計課長、岡田留置管理課長、 尾崎生活安全刑事課長、西畑地域課長、村上交通課長、 警備課員、警務課員 以上 9 人
議 事 概 要		
1 挨拶 会長及び警察署長が挨拶を行った。 2 監察の取組状況 警察署長が、監察の取組状況について報告した。 3 管内治安概況等説明 生活安全刑事課長、交通課長及び地域課長が、令和 8 年 5 月末現在等における管内の治安概況について説明した。委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：警察が特殊詐欺対策アプリを推奨しているということだが、アプリをどのように周知させているのか。 警察：公民館や会合での伝達、広報紙や SNS の活用、さらには小中学校の保護者向けにチラシを配付する等、様々な方法で周知を図っている。 委員：琴浦町逢束地内に停留所のないバス停があり、利用者が道路上で待つこととなり危険なので、バス停の移設を検討してもらいたい。 警察：現状を確認し、必要に応じて関係機関と調整を図りたい。 委員：大山南光河原駐車場に設置のデジタルサイネージを活用し、日本人だけでなく外国人にも山岳遭難防止を図ってもらいたい。 警察：デジタルサイネージは鳥取県が管理しており、日本語と英語で登山者に向け注意喚起をしているところであるが、今後はさらに言語を増やす等、対策について県と検討していきたい。 4 体験 交通安全教育車（ことぶき号）の機能等について交通課長が説明した後、各委員が同車両及び自転車 VR を体験した。委員からは、自らの運転適性や判断能力等を確認するよい機会となったので、広く活用してほしい旨の意見がなされた。 5 意見交換 委員：県内で熊の目撃が多くなっているが、琴浦大山警察署管内での目撃はあるのか。 警察：大山は熊の生息地でもあることから、目撃はある。熊に関する情報は県と共有しており、警察署としては大山パトロール等を通じて注意喚起をしている。今後も関係機関と連携を図っていく。 委員：道路の白線や路面標示が劣化により見えにくくなっている場所がある。 警察：適宜対応中であり、引き続き関係機関と連携を図り対応を進めていく。 委員：警察が特殊詐欺被害抑止活動に注力していることは理解しているが、全国的に被害が増加していることから、少しでも被害者が減少するように効果的な広報、抑止活動を実施してもらいたい。 警察：広報活動を中心として、引き続き抑止活動に努めていく。 6 その他 次回協議会は、令和 8 年 9 月頃に開催する予定である。		